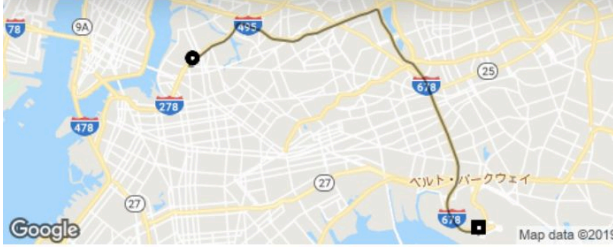



谷口博文の政策イノベーション

乗車の詳細



2019/08/13 21:42 \$48.16
Honda CR-V T762191C +\$8.42 のチップ

● 47 Conselyea St, Brooklyn, NY 11211 アメリカ合衆国
■ Terminal 1, 500 Terminal Dr, Jamaica, NY 11430...

 Mamadou さん を評価し... ★★★★★
(個人情報ですが・・・)

Pool 領収書	
開始料金	\$0.00
時間	\$22.20
距離	\$21.04
小計	\$43.24
州の売上税	\$3.84
NY Black Car Fund (NY ハイヤー基金)	\$1.08
チップ	\$8.21
合計	\$56.37

今や海外個人旅行には欠かせないライドシェアアプリ。日本には存在しないので、ニューヨークで最新事情を体験してきました。

ウーバーとリフトのサービス内容は基本的に同じです。つまり、車を呼ぶと数分以内に来る、到着予定時間がわかる、料金が事前にわかる、呼んだ車の接近がスマホ上で見える、現在地と行き先が示され外国語をしゃべる必要がない、走行経路が地図上にリアルタイムで示される、降りるときに料金を支払う必要がない（カード自動決済）、というものです。ウーバーは日本語で操作できますが、リフトは英語でした。ドライバーに聞くと、リフトの方が少し安く、安さを求めるユーザーはリフトに多い、ドライバーへの実入りはリフトの方が少しいい、とのことでした。これは多くのドライバーが両方やっているからわかることです。

私が初めてウーバーを使ったのは 2016 年サンフランシスコでしたが、その頃から比べるとだいぶ変化しています。

当時はチップを渡さなくていいのありがたいと思ったものですが、今はレストランと同じように、レイティングに応じてチップを乗せるのが普通になってました。また領収書を見ると、州税やハイヤー基金への支払いが加算されていて、以前の割安感がなくなっています。

一方苦情处理的なフィードバック項目が増えていて、その意味でのサービス向上が見えます。タクシー業界との競争だけでなく同業者間の競争もあって、それが価格やサービスに反映しているとも言えます。ハイヤー基金なるものもうまい政治的解決といえるのではないのでしょうか。

日本は政治紛争を怖れてウーバーのビジネスモデルを法律上禁止のままにしました。しかし世界では中国のディディやマレーシア（シンガポール）のGrabなど、米国に対抗できるビジネスに成長しています。

利用者からみれば、タクシーも含め健全な競争によってサービス水準を高めてほしい。新ビジネスをストップすることで国民のためになっているのか、私は疑問です。